



新潟県ソウル事務所発 韓国レポート



2020.12.9

<第30回レポート>

釜山市「韓国日本酒輸入商社主催試飲会」、
ソウル特別市「COEX FOOD WEEK 2020」にて本県をPR

11月8日、釜山ウエスティン朝鮮ホテルにて開催された、韓国日本酒輸入商社が実施する試飲会の場を活用し、新潟清酒をきっかけとした本県のPRを行いました。

試飲会には韓国日本酒輸入商社が釜山周辺地域の日本料理店関係者を招待し、約150名の方々が来場され、同輸入商社が扱う新潟清酒をはじめとする全国の日本酒の試飲、酒蔵の紹介VTR上映が行われました。ここに、本県の観光PR動画を上映、県産品のステンレス製酒器の展示や観光パンフレットの配布を行い、新潟の名のついたお猪口をプレゼントするなどして本県をPRしました。

参加者は、「女性向けの味」、「料理に合いそうな味」など酒の特徴を捉えながら試飲される様子が見られました。また、「新潟の酒は香りがよい」、「自分の店を出している酒」と同伴者に説明されたり、勧めてくださる方もおり、多くの方に新潟を酒どころとして認識していただき、今後、観光等への関心を持っていただく機会とすることができました。



また、11月25日から28日の4日間、ソウル特別市江南区の国際展示場 COEXにて、「COEX FOOD WEEK 2020」が開催され、新潟県ソウル事務所ではブースを出展し、本県の県産品・観光についてPRを行いました。

このイベントは、例年国内外から多くの食品関係事業者が出展し、韓国でも最大規模を誇る国際食品展示会として定着しています。

今年は、295社598ブースが出展し、初日と土曜日を中心に、16,872名が来場されました。施設管理者主催のイベントであり、マスク・手袋着用徹底、食べ歩きの禁止、施設面積に応じた入場人数制限(4㎡につき1名)、体温測定、スマホ等による連絡先把握など、防疫対策をかなり徹底していたものの、3日目からは試飲・試食が禁止になるなど新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けました。

本県ブースでは、県産品の展示や観光動画の上映、既に韓国に輸入されている米菓と清酒を活用して本県のPRを行いました。また、本県の観光情報やソウル事務所の活動を知っていただくために、若者を中心に多くの方からソウル事務所のSNSに登録していただき、お猪口等の記念品をプレゼントしました。

ブースを訪れる方の中には、「よく知る商品が、新潟のものだとは知らなかった」という方や、「日本に行ったことはあるが、新潟にはまだ行ったことがない。旅行ができるようになったら行ってみたい」などと興味を持っていただけました。



これらのイベントを通して、新潟を知っていただくよいきっかけとなり、コロナが収束した後には新潟に観光に来ていただけることを願っています。